

第 52 回（2021 年度）
三菱財団社会福祉事業並びに研究助成
応募要領

1. 助成の対象

①事業・研究の内容

- イ. 事業 : 現行制度上、公の援助を受け難い、開拓的ないし実験的な社会福祉を目的とする民間の事業（原則として法人に限る）。
- ロ. 調査研究 : 開拓的ないし実験的な社会福祉に関する科学的調査研究（個人・法人いずれも可）。

- 〈注〉 1 ここでの“開拓・実験性”とは、新たな視点に基づき展開される社会的意義のある事業ないし研究で、類似例への適用や普遍化の可能性につながるもの、等を想定しています。
- 2 “事業”においては、公的援助が得にくく、社会的意義があり、他地域への発展・普及の可能性のある活動、もしくは福祉現場における“地域性・個別性”が高い活動、あるいは“実践的、草の根的”な活動に基づくものについては、“開拓・実験性”に拘らず、採り上げることもあります。
- 3 なお、今年度の助成においては、上記に拘らず、新型コロナウイルス感染症の影響で困窮している人々を支援する事業を行う NPO 法人、社会福祉法人等への支援も行います。
- 4 外部委託が著しく、研究者・事業者の主体性が損なわれるような研究・事業は、助成対象となりません。
- 5 “調査”については、倫理、個人情報保護等の法規定や精神を十分に踏まえたものであることの説明が必要です。

<連携・協働型について>

なお、上記「イ. 事業」「ロ. 調査研究」の中でも、研究者と社会福祉事業者／活動者等、または異なる専門領域の複数のメンバーの方がチームを形成し、同一の社会課題に対し、より多角的に、ダイナミックに挑戦する提案型の応募（以後、「連携・協働型」と呼びます）も期待します。「連携・協働型」の応募につきましては、助成金額、期間等について、より柔軟に対応します。

具体的には、下記の類型 1.または 2.にあてはまる応募内容の場合、助成申込書作成時に「連携・協働型」の該当欄にチェックを入れ、申請して下さい。なお、「連携・協働型」にあたるか否かについてはホームページにあります「連携・協働型について」を参考の上、ご判断下さい。

1. 研究・事業活動連携型

一つの社会課題に対し、研究者と社会福祉事業者／活動者がチームを組んで、各々の役割分担を明確にし、各々が有するノウハウ、経験を結集することで、より有効で具体性のある解決策を求めるものいわば研究と実践の壁を取り払い、一気通貫で

課題解決の糸口を探る取り組み（チームに、研究者の方と社会福祉事業者／活動者等の双方が含まれることが条件となります）。

2. 複数領域協働型

一つの社会課題解決のために、複数の領域の専門家がチームを組み、課題を多面的に捉えることで、一研究者では成し得ない奥行き感のある成果を期待するもの。

また、社会福祉事業者の場合、種々の枠組みにチャレンジし、よりダイナミックなアプローチを可能とするチーム形成もあるかと考えます。既成概念を破るチャレンジに期待します（同じ研究分野の研究者によるチーム、または同じ業種の事業者によるチームは本類型には含まれませんのでご注意ください）。

応募される案件が上記「連携・協働型」の場合、必ず助成申込書において上記類型の「1. 研究・事業活動連携型」または「2. 複数領域協働型」のいずれで応募するか申告し、併せて「チームの体制」欄にチーム構成を入力して下さい。

②申込者の資格一般

- イ. 日本国内において事業ないし研究の継続的拠点を有するもの（国籍等は不問）。
（法人・団体での申し込みは、その法人・団体の代表者からの応募に限ります。）
- ロ. 営利企業等並びにその関係者は、代表研究者、申込法人・団体、協同研究者、実施担当者・関係スタッフ等になれません。
- ハ. 代表研究者、協同研究者、申込法人・団体及びその代表者、実施担当者・関係スタッフは、本財団の同一年度の助成に複数応募することは出来ません。従って、代表研究者や申込法人・団体の代表者が（他分野も含め）他の応募案件の協同研究者や実施担当者・関係スタッフを兼務したり、協同研究者、実施担当者・関係スタッフが他の応募案件の協同研究者、実施担当者・関係スタッフを兼務することも出来ません（協同研究者、実施担当者・関係スタッフの方には上記の確認も含め、必ず了承を得ておいて下さい）。
なお、複数応募が判明した場合は、失格となることがあります。

2. 助成の概要

①助成金額

総額9千万円を予定。1件宛の金額は特に定めません。

②助成金使途

助成金の使途は下記の通りとします。

- イ. 調査研究費
- ロ. 施設費（建設、設備）
- ハ. 施設以外の経費（職員研修費等を含む）

（注）

1. 単なる施設建設、設備・機器購入等のみを目的とした申込は対象外とします。

2. 事業のスタートアップ資金の場合、助成期間終了後の事業継続可能性が明示されることを条件に、一部経常的資金への支援を認めることがあります。
3. 今年度の助成においては、新型コロナウイルス感染症の影響で困窮している人々を支援する事業を行う NPO 法人、社会福祉法人等については、支援事業の資金や一部経常的資金の支援を認めることがあります。
4. 実施担当者・関係スタッフ・協同研究者については代表研究者・申込代表者と同様、謝金・人件費の支払いは認められませんが、旅費等の支払いは可能となります（事業への協力者、研究補助者等への謝金は認められますが、旅費等の支払いは認められません）。
5. 代表研究者・申込代表者に、助成金使用に係わるすべての管理責任を持って頂きます。
6. 事業・研究の実施者が所属する組織の間接経費・一般管理費等も助成の対象外となりますのでご留意下さい。

③助成期間

助成決定から1年を原則としますが、事情により2年間にわたる使用も認められます（2ヶ年度分の助成申込を一括査定し、助成金は2ヶ年で使用されることとなります）。

④選考協力等

所定の申込書、資料に加え、更に詳しい書類等の提出をお願いしたり、面接、現地訪問等をさせて頂くことがあります（ご提出頂いた資料等は返却致しかねますので、あらかじめご了承下さい）。なお、2021年度につきましては候補者の方には4月中旬頃に面接を予定しております。面接対象となられた方には、2021年3月26日（金）までにメールでご連絡させて頂きます（面接対象となられなかった方へのご連絡はありません）。なお、面接連絡の有無、審査の進捗状況についてのお問い合わせには、回答致しかねますのでご了承下さい。また、新型コロナウイルス感染症の状況により、面接日、面接方法等が変更となることがあります。

⑤助成決定時の義務・条件

- イ. 選考の結果、助成対象者となられた場合は、財団所定の「助成承諾書」を別途提出頂き、これにより事業・研究の経過あるいは完了報告、収支会計報告、その他使途変更事前相談等々の義務を負って頂く事になります。
- ロ. 事業・研究の経過・完了報告については、その一般公開についての同意をお願い致します。
- ハ. 助成金贈呈式を2021年9月13日（月）に予定しています。贈呈式には助成金受領者ご本人にご出席頂くこととなります。原則、代理出席は認めておりません。

3. 選考方法・結果通知等

①選考方法

財団委嘱の下記委員からなる選考委員会において慎重審議の上、その答申案に基づき、2021年6月開催予定の財団理事会において正式決定されます。なお、審査の進捗状況についてのお問い合わせには、回答致しかねますので、ご了承下さい。

(選考委員)

水田 邦雄 (委員長) 妻 鹿 ふみ子
佐藤 敏信 曾根 直樹
芳賀 信彦

(敬称略)

(専門委員)

助成申込の内容によっては適宜専門委員を委嘱します。

②結果通知等

- イ. 結果は決定後すみやかに申込者各位宛にメールで通知されます。なお「助成先一覧」は、本財団インターネットホームページ上に掲載するほか、各種福祉関係広報資料(福祉新聞・社協ニュース等)にも掲載を依頼致します。
- ロ. 採否の理由についてのご照会には一切回答致しかねますのでご了承下さい。

4. 応募期間

2020年12月24日(木) ～ 2021年1月21日(木) 午後5時

*上記応募期間内にのみ応募は可能です(締め切り時間厳守のこと)。なお、応募締め切りの直前は、Webシステムの回線が混雑して送信できない可能性がありますので、お早めにご応募下さい。

5. 応募方法

応募にあたっては、別冊「応募手順」に基づき、本財団インターネットホームページ(以下、本財団ホームページ)上のWebシステムでマイページの登録のうえ、手順に従ってWebシステムで応募して下さい。

[ホームページアドレス] <https://www.mitsubishi-zaidan.jp>

<応募手順>

- ① マイページの登録
- ② 「助成申込書」の入力・作成
- ③ 「助成申込内容」の作成及びアップロード
- ④ 「最重要論文」のアップロード
- ⑤ 定款・寄附行為等のアップロード(法人・団体申込みで法人格のある場合)
- ⑥ 所属機関長の承諾印(個人申込みで所属機関のある場合)
- ⑦ 応募申請と受付の確認

<ご注意>

- * 本財団ホームページ上の Web システムでの申請のみで応募は完了となります。
(電子メール、郵送、ご来所、FAX による応募は受け付けておりません。)
- * 応募完了後は助成申込書、助成申込内容、論文の修正・差し替え等は一切できませんので、応募の申請にあたっては必ず内容をご確認下さい。
- * 「ご応募の際によくある質問と回答」を本財団ホームページ上の「応募 Q&A」に掲載していますので、ご参照下さい。

Web 操作に関するお問い合わせは、原則メールで、ヨシダ印刷株式会社 三菱財団サポート担当までお願いします。その際、マイページを取得されている場合は、ログイン ID を記載して下さい。

E-mail. mitsubishi-zaidan@yoshida-p.co.jp
Tel. (03) 3626-1307 (平日 午前 9 時～午後 5 時)

6. 個人情報取扱いについて

- ①個人情報は利用目的の範囲内で、かつ業務遂行上必要な限度内で利用致します。
- ②法令等の定める場合を除き、事前に本人の同意を得ることなく個人情報を第三者に提供致しません。

7. 反社会的勢力からの応募について

反社会的勢力および反社会的勢力と関係すると認められる個人もしくは法人からの応募は受け付けられません。

【お問い合わせ先】

お問い合わせは、原則メールでお願いします。なお、マイページを取得されている場合は、ログイン ID を記載して下さい。

公益財団法人 三 菱 財 団 事務局
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2 丁目 3 番 1 号 (三菱商事ビル 21 階)
E-mail. info@mitsubishi-zaidan.jp
Tel. (03) 3214-5754

追記 参考資料として、本財団第 49 回以降 (過去 3 年度) の助成先一覧を添付します。
応募件数と同金額は以下の通りです。

2018 年度	232 件 748 百万円
2019 年度	260 件 897 百万円
2020 年度	174 件 606 百万円

以 上

2020 年 11 月

公益財団法人 三 菱 財 団

第49回（平成30年度）三菱財団社会福祉 事業・研究助成先一覧

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
1	東京都	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 ストレス研究室長 安藤 哲也（あんどう てつや）	摂食障害の効果的な治療法の普及に関する研究	1,800,000円
2	東京都	国立精神・神経医療研究センター病院 研究員 池澤 聡（いけざわ さとる）	小児がん患児への認知機能トレーニングの導入と効果の検討	2,450,000円
3	東京都	一般社団法人 ユニバーサル志縁センター 代表理事 池田 徹（いけだ とおる）	社会的養護下やそれに準ずる困難な家庭で育った若者の就労自立支援スキーム構築のための調査研究事業	1,500,000円
4	愛知県	名古屋大学学生相談総合センター 心の発達支援研究実践センター 助教 井戸 智子（いどう ともこ）	障害学生（者）の就労支援のための包括的な就労査定・移行支援・調整プログラムのパッケージ開発	2,200,000円
5	岡山県	岡山大学病院 助教 井上 真一郎（いのうえ しんいちろう）	地域医療に資する一般病院におけるポリファーマシーに関する処方適正化システムの確立	800,000円
6	東京都	東京大学大学院情報理工学系研究科 准教授 入江 英嗣（いりえ ひでつぐ）	ドローンおよびモバイルコンピュータを用いた視覚障害者外出支援システムの研究開発	3,600,000円
7	京都府	同志社大学商学部 准教授 瓜生原 葉子（うりゅうはら ようこ）	次世代を中心とした行動変容を促す科学的手法の開発と実装による検証一体系的な臓器提供意思表示率の改善一	4,300,000円
8	大阪府	関西福祉科学大学社会福祉学部 教授 遠藤 洋二（えんどう ようじ）	児童養護施設等における児童間性暴力の予防・発見・対応に関する実践モデル開発に関する研究	2,750,000円
9	大阪府	大阪大学大学院医学系研究科 博士課程後期 大村 優華（おおむら ゆうか）	介護者アシスト機能を有する体位変換装置の開発に向けた看護ケアの検証	900,000円
10	埼玉県	埼玉県立大学保健医療福祉学部 准教授 小川 孔美（おがわ くみ）	地域連携・協働を基盤とした住民主体による課題解決力強化のための包括的相談支援体制モデルの構築	2,100,000円
11	東京都	上智大学総合人間科学部 准教授 笠原 千絵（かさはら ちえ）	本人リサーチャーと開発する暮らし・たすけあいフォーマット：将来の暮らしに関するインクルーシブ調査	2,700,000円
12	京都府	京都大学大学院医学研究科 教授 木下 彩栄（きのした あやえ）	公共の場・家庭において認知症患者が使いやすいプロダクトデザインについての研究	1,800,000円
13	熊本県	崇城大学工学部 助教 古賀 元也（こが もとや）	車いすナビゲーション・システムの実用化に向けた議論、計画、実行そして有用性の検証一参加型福祉のまちづくりの実現のための実践的取り組み一	5,000,000円

[名称（個人・団体）50音順、以下同じ。]

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
14	東京都	公益財団法人東京都医学総合研究所 精神行動医学研究分野 研究員 古田島 浩子 (こたじま ひろこ)	覚せい剤依存患者の社会復帰支援に向けた行動療法と薬剤投与の併用効果の検討	2,800,000円
15	東京都	国立成育医療研究センター研究所 研究員 小西 瑞穂 (こにし みずほ)	食物アレルギー児の治療アドヒアランス向上プログラムの作成ー増加する食物アレルギーの治療への貢献ー	2,350,000円
16	東京都	日本社会事業大学社会福祉学部 教授 斉藤 くるみ (さいとう くるみ)	アジアの被災地を結ぶ聴覚障害者支援ネットワークのモデル構築とツール開発	1,800,000円
17	茨城県	筑波大学システム情報系 教授 酒井 宏 (さかい こう)	被虐待児童へのアートセラピーの適応：認知神経科学による現象理解と有効なアートの提案	2,600,000円
18	東京都	東京大学大学院医学系研究科 博士課程後期 鈴木 征吾 (すずき せいご)	学校内での医療的ケアが児童生徒の健康関連QOLに及ぼす影響についての縦断研究	1,700,000円
19	静岡県	浜松医科大学大学院医学系研究科 教授 武田 江里子 (たけだ えりこ)	在日外国人に対する子育て支援のあり方の検討：母親の気質に応じたリーフレットと相談窓口の有用性	1,900,000円
20	新潟県	新潟大学医歯学総合病院 病院講師 竹中 彰治 (たけなか しょうじ)	要介護高齢者を支える家族の口腔ケアの省力化を実現する製品の開発と在宅介護用口腔ケアガイドラインの作成	2,000,000円
21	東京都	東京大学大学院医学系研究科 准教授 武村 雪絵 (たけむら ゆきえ)	コンピテンシーモデルを用いた3層リフレクションによる看護管理者の能力開発プログラムの評価：準実験研究	1,950,000円
22	東京都	東京大学医学部附属病院 講師 問田 千晶 (といた ちあき)	小児多数傷病者に対応可能な診療システムの開発研究	2,600,000円
23	茨城県	筑波大学医学医療系 教授 徳田 克己 (とくだ かつみ)	高齢者にみられるペットロス症候群を予防するためのペット依存生活の改善方法の開発	1,200,000円
24	神奈川県	慶應義塾大学総合政策学部 准教授 中室 牧子 (なかむろ まきこ)	質の高い幼児教育は、子どもの就学期の学力や生きる力にどのような影響を与えるのか	5,400,000円
25	千葉県	千葉大学大学院医学研究院 特任准教授 橋本 佐 (はしもと たすく)	周産期から取り組む包括的児童虐待防止システム構築のための調査研究	2,700,000円
26	岡山県	岡山大学全学教育・学生支援機構 学生総合支援センター 准教授 原田 新 (はらだ しん)	発達障害特性の強い大学新入生への移行支援：漫画教材を活用した大1コンフェーション予防対策プロジェクト	1,700,000円
27	京都府	京都大学総合臨床教育・研修センター 助教 肥田 侯矢 (ひだ こうや)	大腸がん患者の就労継続および職場復帰に資する研究	2,700,000円

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
28	福島県	福島県立医科大学医学部 講師 日高 友郎 (ひだか ともお)	放射性廃棄物の中間貯蔵施設整備により故郷を喪失する住民に対する心理支援に向けたニーズ調査研究	1,200,000円
29	三重県	鈴鹿医療科学大学保健衛生学部 教授 藤原 正範 (ふじわら まさのり)	司法に関わるソーシャルワーカーの研修プログラムの開発	2,500,000円
30	千葉県	千葉大学大学院看護学研究科 特任准教授 前原 邦江 (まえはら くにえ)	生殖補助医療によって妊娠した女性とかかわる看護職者に向けた研修プログラムの開発	1,400,000円
31	兵庫県	甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 教授 丸 光恵 (まる みつえ)	イスラム看護指針およびムスリム患者対応能力アセスメント指標の作成：医療における多文化共生を目指して	2,500,000円
32	兵庫県	NPO法人宝塚高次脳機能障害者共生の会 地域活動支援センターWakaba 施設長 宮原 智子 (みやはら ともこ)	高次脳機能障害者の障害の気づきに影響を及ぼす要因の検討	900,000円
33	岩手県	岩手医科大学医学部 講師 八木 淳子 (やぎ じゅんこ)	東日本大震災後に誕生した子どもとその家族への縦断的支援研究－子どもの発達の多角的評価と包括的支援－	3,500,000円
34	東京都	特定非営利活動法人ReBit 代表理事 薬師 実芳 (やくし みか)	多様な性についての学校教育が児童生徒に及ぼす効果について	1,800,000円
35	奈良県	社会福祉法人ふるぽの 理事長 山内 民興 (やまうち たみおき)	AI手法により蓄積された就労支援のデータから障害者の職業準備力を規格化する調査・開発の取組	8,450,000円
36	大阪府	大阪大学医学部 教授 山崎 あけみ (やまざき あけみ)	市民との対話から探究する学童を育てている家族の食に関する多彩な家族保健機能	950,000円
37	新潟県	新潟大学工学部 准教授 渡辺 哲也 (わたなべ てつや)	視覚障害教育のための3Dプリンタによる立体日本地図の製作とその普及	1,500,000円
合 計				37 件 90,000,000円

第50回（2019年度）三菱財団社会福祉 事業・研究助成先一覧

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
1	東京都	一般社団法人日本司法通訳士連合会 (JLIA) 代表理事 天海 浪漫 (あまみ ろまん)	日本における「司法通訳士」資格認定システムの開発	1,700,000円
2	神奈川県	東海大学健康学部 講師 市川 享子 (いちかわ きょうこ)	共生社会構築実践のひとつとしての、サービス・ラーニング評価方法の開発	1,200,000円
3	神奈川県	東海大学医学部 教授 井上 玲子 (いのうえ れいこ)	小児がんピアサポーター養成研修会修了生によるプログラム評価及び全国小児がん拠点病院での研修事業の構築	1,700,000円
4	京都府	京都大学大学院医学研究科 教授 今中 雄一 (いまなか ゆういち)	介護現場におけるリスクとクライシスのマネジメントに関する組織文化の可視化と変化の要因	3,400,000円
5	兵庫県	兵庫県立大学地域ケア開発研究所 教授 梅田 麻希 (うめだ まき)	身体合併症を有する精神障害者に対する急性期医療：ミックスドメソッドによる公平で効果的な医療ケアの検討	2,200,000円
6	新潟県	上越教育大学大学院学校教育研究科 助教 大宮 宗一郎 (おおみや そういちろう)	精神保健福祉センターにおいて薬物依存回復プログラムを提供する社会的意義についての研究	2,900,000円
7	東京都	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 室長 加賀 佳美 (かが よしみ)	限局性学習症児におけるワーキングメモリ障害の病態解明とその支援プログラムの開発	1,300,000円
8	広島県	特定非営利活動法人風の家 理事長 大原 嘉樹 (おおはら よしき)	自立が困難な矯正施設退所者の社会復帰に資する動的要因の保護因子に関する調査研究事業	1,500,000円
9	東京都	国立成育医療研究センター臓器移植センター 研究員 金澤 郁恵 (かなざわ いくえ)	小児肝移植患者における青年期以降の日常生活の実態と支援ニーズに関する研究	1,300,000円
10	大阪府	大阪教育大学特別支援教育講座 特任教授 金森 裕治 (かなもり ゆうじ)	ブラジル人の児童に対する日本語指導におけるデジタル教材の開発	2,000,000円
11	兵庫県	全国頸髄損傷者連絡会 会長 鴨治 慎吾 (かもじ しんご)	頸髄損傷者の自立生活と社会参加に関する実態調査2020	2,350,000円
12	神奈川県	横浜市立大学大学院国際マネジメント研究科 准教授 黒木 淳 (くろき まこと)	小児医療政策の社会経済インパクトに関する研究	2,900,000円
13	京都府	社会福祉法人全国手話研修センター 代表 黒崎 信幸 (くろさき のぶゆき)	こども手話検定試験（仮称）の実施について	6,800,000円

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
14	千葉県	JUMP (Japanese Unidentified and Missing Persons Response Team) 代表 斎藤 久子 (さいとう ひさこ)	日本の大規模災害における身元確認システム-DVI(Disaster Victim Identification)-体制構築のための事業	1,700,000円
15	宮城県	東北大学東北アジア研究センター 教授 佐藤 源之 (さとう もとゆき)	日本の技術による人道的地雷除去とカンボジア農村の環境・経済復興支援	2,500,000円
16	千葉県	東京歯科大学市川総合病院 准教授 宗 未来 (そう みらい)	重症・遷延性の神経性やせ症患者に対する家族焦点型集団家族療法の傾向スコア分析を用いた効果検証	6,300,000円
17	東京都	東京大学先端科学技術研究センター 講師 高橋 麻衣子 (たかはし まいこ)	不登校・不登校傾向にある児童・生徒の認知特性に応じた学びの支援に向けた調査研究	1,100,000円
18	山梨県	一般社団法人星つむぎの村 代表理事 高橋 真理子 (たかはし まりこ)	病院がプラネタリウムフライングプラネタリウムですべての人に星空を	1,700,000円
19	茨城県	筑波技術大学保健科学部 教授 巽 久行 (たつみ ひさゆき)	網膜投影を用いた情報保障による弱視向き電子白板システムの開発	2,100,000円
20	新潟県	新潟薬科大学健康推進連携センター 教授 富永 佳子 (とみなが よしこ)	地域における薬剤師と管理栄養士との連携体制(薬栄連携)の基盤構築	1,900,000円
21	東京都	一般財団法人日本福祉力検定協会企画室 室長 長田 奉公 (ながた ともひろ)	AIスピーカーを使用したパターン介護記録の実証実験	3,800,000円
22	岐阜県	岐阜保健大学看護学部 講師 中谷 こずえ (なかたに こずえ)	受刑者・元受刑者への社会復帰に根ざした行動変容を促す健康維持・増進ケア実践モデルの開発	5,200,000円
23	静岡県	やきつべの径診療所 代表理事 夏苺 郁子 (なつかり いくこ)	精神科医療が変わるには何が必要か？当事者・家族6000人の実践知と経験知を通しての提言	2,600,000円
24	大阪府	NPO法人Reジョブ大阪 理事 西村 紀子 (にしむら のりこ)	失語症者向けに、テレビ会議システムzoomを用いたオンライン言語療法の効果と問題点の研究	850,000円
25	宮城県	東北大学大学院法学研究科 助教 根岸 謙 (ねぎし けん)	任意後見契約に内在する契約関係者の利害意識についての分析-真に認知症高齢者のための制度を目指して-	1,700,000円
26	東京都	東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム 研究員 野中 久美子 (のなか くみこ)	多世代住民間での自然発生的な互助が生まれる機序の解明	3,800,000円
27	茨城県	筑波大学医学医療系 講師 浜野 淳 (はまの じゅん)	在宅非がん高齢者における包括的な苦痛緩和の実態解明のためのコホート研究	2,200,000円

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
28	東京都	慶應義塾大学医学部 専任講師 浜本 康夫 (はまもと やすお)	進行がん患者が「難民化」する要因に関する研究	2,400,000円
29	東京都	一般社団法人日本うつ病センター 名誉理事長 樋口 輝彦 (ひぐち てるひこ)	精神疾患治療ガイドラインと実地診療の相違の検証	5,500,000円
30	東京都	武蔵大学社会学部 准教授 人見 泰弘 (ひとみ やすひろ)	日本型難民社会統合政策の構築に向けた総合的調査研究ーインドシナ難民受け入れ事業40年間の分析から	1,500,000円
31	茨城県	筑波技術大学産業技術学部 教授 平賀 瑠美 (ひらが るみ)	聴こえる音楽、好きな音楽を見つけるー聴覚障害者の音楽聴取の機会を増やすために	1,200,000円
32	東京都	東京農工大学大学院工学府 博士後期課程 平松 勲 (ひらまつ いさお)	視覚障害者のICT分野の教育訓練を支援するシステムに関する研究	2,100,000円
33	東京都	一般社団法人日本医療通訳士会 代表理事 藤上 理奈 (ふじがみ りな)	統合的、実践的医療通訳教材創出のための中国語医療通訳総合データベースの構築	750,000円
34	東京都	聖路加国際大学公衆衛生大学院 講師 星野 絵里 (ほしの えり)	AI搭載のスマホアプリによる胆汁うっ滞系小児慢性特定疾病のスクリーニング法の開発と実証研究	1,700,000円
35	長野県	信州大学医学部 教授 本田 秀夫 (ほんだ ひでお)	保健・福祉・医療のネットワークを活用した発達障害の「グレーゾーン」の子どもの保護者支援に関する研究	4,250,000円
36	埼玉県	埼玉医科大学医学部 教授 前田 卓哉 (まえだ たくや)	我が国に居住する南米出身者のシャーガス病罹患状況調査と診療支援体制の構築	1,200,000円
37	大阪府	特定非営利活動法人チャイルド・リソース・センター 代表理事 宮口 智恵 (みやぐち ともえ)	児童虐待による分離後の親子関係再構築支援に関する支援モデルの研究	2,300,000円
38	茨城県	筑波大学医学医療系 准教授 柳 久子 (やなぎ ひさこ)	外国人介護職者の持つ仕事への情熱と幸福感に基づく人材育成に関する研究	850,000円
39	石川県	NPO法人あかりプロジェクト 代表理事 山口 いづみ (やまぐち いづみ)	家から地域へ！摂食障害者の居場所づくり2ndステップー思わず外に出たくなるプログラム2種の開発	1,550,000円
40	東京都	特定非営利活動法人ポルノ被害と性暴力を考える会 理事長 金尻 カズナ (かなじり かずな)	意に反し拡散した性的画像記録の削除要請自動化プロジェクト	3,800,000円
41	東京都	認定特定非営利活動法人NPO会計税務専門家ネットワーク 理事長 脇坂 誠也 (わきさか せいや)	公益法人等が実施する福祉サービスに関する法人税課税問題の調査研究	2,200,000円
合 計				41 件 100,000,000円

第51回（2020年度）三菱財団社会福祉 事業・研究助成先一覧

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
1	神奈川県	神奈川歯科大学大学院歯学研究科 准教授 青山 典生（あおやま のりお）	口腔の健康をはじめとした生活スタイルの改善によって循環器疾患を予防できるか	1,800,000円
2	北海道	社会福祉法人北海道療育園診療部 医員 浅井 洋子（あさい ひろこ）	重症心身障害児・者における生涯学習の方法論の模索と学習効果の評価方法の確立に向けた予備研究	1,300,000円
3	京都府	京都府立医科大学大学院医学研究科 客員講師 綾仁 信貴（あやに のぶたか）	統合失調症患者の周術期での精神症状悪化予測因子に関する研究－統合失調症患者の治療機会均等を目指して－	2,000,000円
4	東京都	特定非営利活動法人電子メディアと知識の箱デジコム 理事長 新井 千晶（あらい ちあき）	子育てママと育メンのためのスマホアプリ制作で先端技術の習得！ウェブでプログラミング独学プロジェクト	3,200,000円
5	宮城県	東北工業大学建築学部 教授 石井 敏（いしい さとし）	環境移行調査によるユニット型特別養護老人ホームにおけるユニットケアの実践とその定着に関する実証的研究	1,600,000円
6	北海道	北海道大学学生相談総合センター 准教授 石井 治恵（いしい はるえ）	全国大学学生相談機関における危機対応－現状課題の把握と基本指針の作成－	2,800,000円
7	佐賀県	佐賀大学教育学部 教授 井上 伸一（いのうえ しんいち）	AIを導入して歩行動作を解析し歩行能力を簡便に評価するシステムの開発－介護予防の効果を測る新手法－	2,000,000円
8	東京都	東京大学大学院情報理工学系研究科 准教授 入江 英嗣（いりえ ひでつぐ）	ウェアラブルカメラによる3Dスペースセンシングと触覚通知による、視覚障害者のための屋内ナビゲーションシステムの開発	4,000,000円
9	東京都	新渡戸記念中野総合病院脳神経内科 部長 内原 俊記（うちはら としき）	おだやかな看取りを明日に活かすみち：神経疾患療養者の在宅看取りからの病理解剖	4,000,000円
10	栃木県	獨協医科大学国際協力支援センター 助教 内山 浩志（うちやま こうじ）	炎症性腸疾患患者の寛解維持・増悪予防のための防災備蓄食品の開発「独・協・飯」プロジェクト	3,500,000円
11	東京都	国立成育医療研究センター社会医学研究部 部長 浦山 ケビン（うらやま けびん）	小児がん患者・経験者の心理社会的困難共有ツールの開発－仲間を感じる・自分を想うプロジェクト－	6,700,000円
12	京都府	同志社大学商学部 准教授 瓜生原 葉子（うりゅうはら ようこ）	ソーシャルマーケティングの最適化プロセスとその普及に関する研究	3,200,000円
13	愛媛県	愛媛大学教育学部 教授 大西 義浩（おおにし よしひろ）	データ科学で挑む児童生徒のメンタルヘルス状況のモニタリング	3,200,000円

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
14	東京都	昭和女子大学人間文化学部 准教授 大場 美和子 (おおば みわこ)	日本人介護職員の経験知による指導と 技能実習生の教え合いを活用した介護 人材育成プログラムの構築	2,000,000円
15	埼玉県	国立武蔵野学院医務課 厚生労働技官 大原 天青 (おおはら たかはる)	発達障害・虐待・非行が重複する子ども・ 家族に対する支援システムの構築 と実証的評価	2,500,000円
16	東京都	慶應義塾大学医学部 特任助教 梶田 大樹 (かじた ひろき)	口唇口蓋裂児の成長に寄り添い、診療 の質の向上を目指すデジタルデータ・ アーカイビングモデルの構築	6,000,000円
17	東京都	国立精神・神経医療研究センター精神保 健研究所 リサーチフェロー 川口 敬之 (かわぐち たかゆき)	精神障害当事者と支援者との共創による リカバリー促進に向けた協働意思決 定モデルの構築	2,100,000円
18	東京都	一橋大学大学院社会学研究科 科学研究費研究員 菊池 美名子 (きくち みなこ)	女性薬物使用者の回復支援と予防的介 入に向けた支援ニーズ調査研究	700,000円
19	愛知県	日本福祉大学社会福祉学部 助教 菊池 遼 (きくち りょう)	災害時に支援のミスマッチを解消する ための調査研究	2,900,000円
20	京都府	京都大学大学院医学研究科 助教 木村 亮 (きむら りょう)	ウィリアムズ症候群のライフステージ に応じた支援に関する研究	1,800,000円
21	東京都	国立国際医療研究センター国際感染症セ ンター 国際感染症対策室医長 忽那 賢志 (くつな さとし)	長期在住外国人を守るための、ワクチ ンで予防可能な疾患に対するリスク分 析と実態調査	3,200,000円
22	京都府	京都橘大学健康科学部 助教 合田 明生 (ごうだ あきお)	簡便に実施可能な超早期の認知機能低 下を検出するアプリケーションの開発	4,500,000円
23	東京都	筑波大学人間系附属学校教育局 准教授 小島 道生 (こじま みちお)	知的・発達障害者のセルフアドボカ シースキル獲得支援プログラムの開 発・普及	1,400,000円
24	東京都	東京都健康長寿医療センター研究所福祉 と生活ケア研究チーム 研究副部長 島田 千穂 (しまだ ちほ)	看取りを視野に入れたケアマネジメン トを可能にするアセスメントとプラン 作成方法、研修方法の検討	1,300,000円
25	東京都	大正大学社会共生学部 専任講師 高瀬 顕功 (たかせ あきのり)	潜在的な地域資源を活用した地域包括ケ アシステムの強靱化	1,400,000円
26	東京都	ツイズエイド～多胎支援プロジェクト ～ 代表 高原 恵子 (たかはら けいこ)	多胎児を妊娠中の家族や育児開始初期 の家族に対する支援方法の開発	1,100,000円
27	東京都	国立精神・神経医療研究センター病院第 二精神診療部 医師 竹田 康二 (たけだ こうじ)	医療観察法病棟における社会復帰の促 進を目的とした情報アクセス環境改善 のためのプロジェクト	4,000,000円

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
28	宮崎県	宮崎大学医学部 助教 田上 博喜 (たのうえ ひろき)	精神科訪問看護における社会的認知機能に対するリハビリテーションの導入と効果検証	1,300,000円
29	東京都	国立がん研究センターがん対策情報センター 研究員 土屋 雅子 (つちや みやこ)	一般市民のがんに対する偏見軽減に向けたウェブ体験学習プログラム「友人サポーター」の実用性および効果検証	2,200,000円
30	高知県	高知大学医学部附属病院 特任講師 福田 仁 (ふくだ ひとし)	地域悉皆登録に基づいた急性期脳梗塞患者受診遅れの改善を目指す研究	3,000,000円
31	愛知県	名古屋大学総合保健体育科学センター 准教授 古橋 忠晃 (ふるはし ただあき)	フランスの精神科訪問医療制度を日本の「ひきこもり」の医療制度へ導入する試み	2,400,000円
32	東京都	東京都立小児総合医療センター血液・腫瘍科 医員 松井 基浩 (まつい もとひろ)	AYA世代がん患者が全国どこにいても孤立することのない社会実現のための全国ネットワークシステム開発研究	3,000,000円
33	京都府	三島 亜紀子 (みしま あきこ)	シックハウス症候群・化学物質過敏症患者の家族支援プログラムの開発	900,000円
34	岡山県	川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部 講師 三田 岳彦 (みた たけひこ)	在宅高齢者の人工的水分・栄養補給(AHN)導入後のADLとQOL－国際生活機能分類を活用した包括的評価－	2,000,000円
35	東京都	東京都立大学大学教育センター 教授 村松 健司 (むらまつ けんじ)	児童養護施設におけるスタッフの離職要因の分析	2,000,000円
36	東京都	特定非営利活動法人ReBit 代表理事 薬師 実芳 (やくし みか)	多様な性に関する適切な記載を、次期教科書に。発達段階にあわせた教育効果研究及びアドボカシー事業	2,800,000円
37	東京都	特定非営利活動法人Safe Kids Japan 理事長 山中 龍宏 (やまなか たつひろ)	ベランダ等高所からの子どもの転落を予防する－研究者、事業者、保護者と共に目指す安全な町、安全な建物	2,500,000円
38	栃木県	自治医科大学大学院医学研究科 准教授 山邊 昭則 (やまべ あきのり)	SDGs推進を契機とした地域社会の持続的発展のための教育開発研究－医師養成の観点から	1,700,000円
39	東京都	明星大学デザイン学部 准教授 吉岡 聖美 (よしおか きよみ)	VRを活用したリハビリテーションプログラムの開発と実践研究	2,000,000円
合 計				100,000,000円